



いわき放射能市民測定室

たらちね

# 1周年 測定報告会

放射能測定～この1年をふりかえって

## 木村真三

慶応医科大学 放射線衛生学准教授・たらちねアドバイザー

### 特別講演会



2012年 **11月24日** (土)

13:30 開演～16:30 終演予定 (13:00 開場) 入場無料

いわき市文化センター1F 大講義室

いわき放射能市民測定室 **たらちね**

# 1周年 測定報告会 & 木村真三博士特別講演会

## 放射能測定～この1年をふりかえって

2012年11月24日(土) いわき市文化センター1F 大講義室

2011年11月23日に開いたしました「いわき放射能市民測定 たらちね」は、この11月で1周年となります。身辺な食料を食べた方がいいのか悪いのか...。子どもも地域住民のいい暮らしを確保するために立ち上がった私たちの測定室の1年間を、覚えてくださるみなさまにご報告させていただきます。また、たらちねアドバイザーの木村真三博士から環境の福島の子どもの今後の見通しをお話しいたできます。これから何十年も日本の暮らしにどう向き合っていくか、放射能汚染の問題に、どう向き合っていくのか、測定室開所から1年たった今、地域のみならず国に再確認をしたいと思っています。私たちの命と、未来を担う子どもたちに何を残して行けるのかと一緒に考えるために、ぜひお越しくださいませ。測定室スタッフ・関係者一同、心よりお待ちしております。



### 木村真三 博士 プロフィール

2011年3月11日の福島第一原子力発電所事故後、放射能測定の専門家としての存在、同僚測定室士と共に福島県産品を用いて放射能量を測定する、同僚に提供した土壌サンプルを大学の原子力工学の専門家に送り、放射性物質の分析を依頼、放射能汚染地図を作成する。この現地調査の様子から3月15日、NHK ETV特集「ネットワークでつくる放射能汚染地図」として放映され、福島県の詳細な放射能汚染測定室の仕組みで一般に公開された。8月8日には新聞が公開された。福島第一原子力発電所の正門から1km離れた大笹野地で採取したサンプルの分析結果を公開。プルトニウムやセシウムが数倍の比率で見られることに注目された。この他、チェルノブイリ原子力発電所事故の影響で汚染被害を受けた、ウクライナ キエフ州 子ロージン地区の住民の健康被害も行っている。

独立行政法人放射線医学総合研究所 / 福島県つくし医療センター健康評価研究所 / 研究員 (1999年～)

独立行政法人労働安全衛生総合研究所 / 研究員 (～2011年)

関西医科大学准教授 (2011年現在)

## 主催

いわき放射能市民測定室 **たらちね**

2011年3月11日、福島第一原子力発電所の事故、そしてさまざまな放射能汚染による健康のふたりの脅威と健康被害から子供を守るために、立ち上がるための開所を目的として開所した。活動されてきた放射能測定室。

測定内容は、食品の放射能測定室による測定と、カーマダ・センターによる大気中の放射能測定。

測定室の役割「たらちね」は子供を育てる家庭であり、子育ての中心を担って運営することを目指しています。活動されてきた放射能測定室いわきの立場をどうしていくのかを地域住民のみなさまに伺いながらすすめていく。夢を託している。

T971-8162

福島県いわき市小浜須賀橋町 11-3

カネマンビル3階

Tel & Fax 0246-02-2526

E-Mail tarachina@bz04.plala.or.jp

URL www.iwakisokuteishitsu.com

場所：いわき市文化センター1F 大講義室  
いわき市平字須賀 1-4 Tel 0246-22-5431



交通のご案内・測定室地図(1-4号) 印刷はこちら